



# 大事協だより

大島地区公立小・中学校  
事務職員協会 研修部  
第67号  
2019年12月12日発行

2019年は、年号が「平成」から「令和」に変わり新しい時代の幕開けとなった年でした。12月も終わりが近づき、また新しい年を向かえます。これからも等しく情報を共有・享受し、広域的に連携するための活動にご協力をお願いします。

## <各地区からのお便り>

今回の原稿は、①奄美市名瀬東住②天城町からいただきました。

### 奄美市名瀬東部・住用地区学校事務支援室

住用小学校 折田 智成

奄美市名瀬東部・住用地区学校事務支援室について紹介します。今年10月大事協で事例発表した際の内容と重複する点がありますがご了承ください。平成31年4月『名瀬東部地区支援室』『住用地区支援室』が統合され『名瀬東部・住用地区支援室』となりました。それまで同じ奄美市内の支援室ではありましたが、業務のやり方等が異なる部分もあったため、統合後の支援室の課題や現状について随時話し合いを重ねながら、よりよい支援室となるようとりこんでいます。支援室のメンバーは採用からの経験年数のなかい方が多く、過去の経験・知識が活かされた意見交換が行えています。また、夜の部の支援室（懇親会）はさらに充実しており、子連れでの参加もあり仕事の話だけでなく、子育て論から恋愛話まで多岐にわたって盛り上がります。名瀬東部・住用地区学校事務支援室は、今後も統合前より充実した支援室体制を確立できるようとりこんでいきます。



## 天城町小中学校事務職員研修会

### 1. 研修会について

天城町は小学校6校（分校2校）、中学校3校で6名の事務職員から構成されています。若手事務職員が2名、そんなに若くないのが1名、お母さんが1名、お父さんが1名、レジェンドが1名という幅広い年代で活動をしています。研修会は年3～4回程度で、1町1支援室のため、支援室と事務職員研修会の差別化が課題です。来年度以降は研修会の回数を増やしていきたいと考えています。

### 2. 具体的なとりくみ

昨年度から引き続き学校徴収金を研修テーマとして活動を行っています。各学校のPTA会計の内訳を持ち寄り、公費として購入することが適当な物品ではないかというような意見交換を行いました。

研修視察では長島町西地区事務支援室・出水市事務職員研修会の保護者負担軽減等のとりくみを学び、情報交換を行うことで、事務職員としての知見や横のつながりを深めることができました。

また、昨年度は教育委員会、校長会を通して土曜授業振替簿の簡略化や就学援助事務の様式変更を行い、今年度は学校財務規則の設置に向けて活動し、実現することができています。

### 3. 天城町について

天城町は徳之島の北東部に位置し、犬の門蓋や海底鍾乳洞といった特殊な地形を有しています。特に、海底鍾乳洞の“ウンブキ”は島口で、度々テレビでも取り上げられています。最近の調査ではそれが日本最大級の海底鍾乳洞であることや、ウンブキアナゴなどの新種の生物が生息していることがわかりました。

また、トライアスロンIN徳之島大会が毎年開催される、“鉄人達の島”としても知られています。全国各地から鉄人アスリートが駆けつけ、熱戦を繰り広げます。来年のかごしま国体でも天城町ではトライアスロンが行われます。



天城町HP

<https://www.town.amagi.lg.jp/>



## 新規採用者の声

知名町立田皆中学校

田中 真央

みなさんこんにちは。今年度、新規採用職員として知名町立田皆中学校に赴任して参りました、田中真央と申します。

赴任当初は右も左も分からないまま年度初めの業務に追われる日々を送っていましたが、支援室の先生方が毎日のように駆けつけてくださったり、支援室の時に業務について質問をすると丁寧に教えてくださったりと、何度も助けていただいて感謝の気持ちでいっぱいです。また、知名町の支援室の先生だけでなく和泊町の事務職員の先生にも中学校の業務について教わる機会が多く、とても心強く思っています。初めての離島ということで初めのうちは慣れないことが多かったのですが、学校の先生に島内巡りやご飯に連れて行っていただいたり、先輩事務職員や同期と美味しいものを食べに行ったり、お祭りに行ったりと、沖永良部島での生活はとても充実しています。

学校事務の仕事は多岐にわたるため、毎日の業務を書き留めて、来年度の業務に生かしたいと思えます。また、今年度間違えたところを来年度は間違えないようするために、何をどう間違えたか、整理して書き留めておくようにしています。

まだ1年を通して事務職員の仕事を体験しておらず、周りの学校の事務職員の先生方にはこれからもご迷惑をお掛けしてしまうかと思えます。また、これから行われる学校行事も楽しみにしながら仕事に取り組んでいこうと思えます。今後ともよろしく願いいたします。



瀬戸内町立薩川小学校

上原 千怜

前年度から臨時的任用により、瀬戸内町立薩川小学校に参りました。上原千怜です。

平成29年度は小学校教諭として学校に勤めていたため、事務職員という仕事は初めてで「事務なんてできるのか?どんな仕事なのか?」と少し不安もありつつ赴任してきました。実際、教諭の先生は今でも覚えていますが、事務の先生はあまり覚えていませんし、いつものんびりしているなというイメージが強かったです。ですが、事務職員という仕事についてすごいなと思いました。事務職員という仕事は、地味なようで学校にすごく重要なポジションにいるということを知ったからです。例えば、初めてのデータの入力時の緊張したこと。「これをクリックするだけで給与が決まるんだ」と思うと、何度も何度も大丈夫かと確認し、やっとクリックしたのを覚えています。さらに、県費に町費に年末調整。まだまだ他にもありますが訳のわからない書類とにらめっこすることが多々ありました。学校には自分以外分かんない中、他校の事務職員の先生方の存在はすごく大きかったです。支援室等を通して学べることもたくさんありました。

教諭としての立場だけでなく、事務職員という違う立場を経験できていることはとても貴重なことだと思います。様々な視点から物事を考えてよりよい学校作りに力を尽くせるよう今後も頑張っていきたいと思えます。これから1年間よろしく願いいたします。



地区事務職員研修会アンケート、大島地区起点表整備事業・大事協だより原稿作成・編集等へのご協力ありがとうございました。2月14日には、大事協理事会・市町村代表者会が開かれます。新しい年を迎えみなさまに幸せが訪れますように・・・。

